

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2012-2013年度 RI会長 田中 作次
2012-2013年度 魚津RC会長 野澤 良成



第2841回 例会報告 (北陸電力片貝第一発電所見学会) 2012年9月28日

アンテロープ 2階 研修室→北陸電力片貝第一発電所

点鐘・握手

ロータリーソング「我等の生業」

会長挨拶



今日の例会は、職業奉仕委員会の活動の一つであります企業訪問として、会員であります北陸電力魚津支社長 坪野さんのご協力によりまして今年度運転開始100年を迎えた北陸電力片貝第一発電所の見学会を開催致しましたところ大勢の会員の皆さんに参加して頂き誠にありがとうございます。

企業訪問のねらいの一つには会員同士が相手の会社の事、仕事の事をもっと知ろうという大きな目的もある訳ですが、日頃皆さんが目にする事の出来ない経験をさせてもらう事に感謝致しております。

昨日、クラブ奉仕委員会活動がありまして、7つの各委員会の計画活動方針を確認してもらい、その実行の為意見交換が行われました。昼の例会は昼の例会の良さがありますが、夜の会合は昼と違いお酒も入り、時間も長くとれ、深く広く色々な意見交換が出来て、大変有意義な委員会でありました。まだ開催されていない委員会も早急に開催されることを願っておりますのでよろしくお願い致します。

今日の例会は時間的にもちょっとせわしいかもしれませんが、会場の移動又車の乗り合い等ご協力よろしくよろしくお願い致します。

終わりに、今日の例会会場を提供して頂きました北陸精機会長の谷口貞夫さんに感謝申し上げます。

出席報告 小浜出席委員長

本日の出席者 31名 出席率83.78% 欠席者 4名
メイクアップ済み 羽田さん 中田さん
2839回のメイクアップ 吉崎さん 大島さん
2839回の修正出席率 83.78%→89.18%

ニコボックスの報告 なし

委員会報告

職業奉仕委員会 清水委員長

本日、谷口さん、坪野さんにはお世話になります。北陸電力片貝第一発電所は日本カーバイドの電力の必要性から造られた有名な発電所と聞いています。

10月5日は職業奉仕月間にちなみ、職業奉仕表彰を行います。受賞者2人で賞状等の準備も進んでいます。



見学会に関して

北陸電力魚津支社長 坪野さん

見学の前提としてお話しします。

1 供給力における水力、火力、原子力発電の位置づけ

需要の変化に対応した電源の組み合わせ 片貝第一発電所は、流れ込み式水力発電所なので電力需要への変化に対応できず、ベース供給力として対応

至近2年間の電源の組み合わせの状況 水力は発電電力量の構成比9%であるが、北陸電力では24%

2 水力発電のしくみ (水の利用方法による分類)

流れ込み式(自流式)水力発電 調整池式水力発電 貯水池式水力発電

3 片貝別又発電所計画および北陸電力グループの水力発電の状況について

見学いただく片貝第一発電所は明治45年1月に発電を開始した県内で2番目に古い発電所で出力は4,200kWです。



歓迎の挨拶 北陸精機会長 谷口さん



合併して魚津市片貝谷となり、今でも会社の敷地から上は富山県の過疎地域になっています。

片貝谷分校に行っていました。8月には戦争に行く人を見送っていました。1~4年生までで先生は2人でした。1年生と4年生が並んで一つの教室で勉強していました。

「日本カーバイドに行っていないとお嫁さんがもらえないよ」と言われていた会社でした。

今年、北陸電力さんが片貝第一発電所の100年をお祝いされた。100年の間に素晴らしい社会になったと思っています。片貝第一発電所を造った時の写真がありますが、機械を使ってないことが分かります。私の親も写っています。

発電所は100年前のハイテク産業だと思います。

現地での説明、見学

担当者 北陸電力魚津支社電力部 発電電保守課 課長 谷田さん



1 魚津支社管内の概要

・3市3町(滑川市、魚津市、黒部市、上市町、入善町、朝日町)がエリアで、6つの河川で27箇所の水力発電所、13箇所の変電所の運転と保全業務を行っています。

・黒部川は合計920,000kW(内、関西電力890,000kW)の電力を水力発電所で発電している日本屈指の電源河川です。



・片貝川水系には8箇所の水力発電所があり、最大出力53,000kWは、魚津市の一般家庭のピーク使用量と同等となります。又、年

間の発生電力量は、魚津市で使用する電力量の2/3に相当します。

・現在は、温水時のためピーク時の1割程度しか発電しておらず、1年を通してのベース電源にはならないのが現状です。電力の安定供給には、火力発電所(石油や石炭などの化石燃料)に頼ることになります。

2 水力発電のしくみ

・1mの落差で $\text{m}^3/\text{秒}$ の水を流すと約10kWの発電が可能。

・片貝第一発電所は使用水量毎秒9.74 $\text{m}^3/\text{秒}$ で有効落差52.5mなので4,200kWになります。(計算式は略)

3 片貝第一発電所

・水槽からの水は、2本の鉄管を流れ、それぞれ1号水車、2号水車を經由して放水路へ流れています。

・富山県の近代歴史遺産百選に認定されています。

・明治45年1月に日本電気工業の自家用として発電を開始。今年4月に地元の方をお招きし、100周年のお祝いをしました。

・現在の発電所で残っている建設当時(100年前)のものは、建物の鉄骨部分のリベット(鋸接)構造部分や放水路の石垣であろう。





あしがき

見学会は多数の協力がないと実現しないことがよく分かりました。
特に北陸電力の支社長はじめ皆さまの、資料準備、説明、車両誘導、駐車整理等の目に見えるご苦勞のほかにご苦勞がと推測すると感謝あるのみです。